

ESDに関するユネスコ世界会議の成果と
「国連ESDの10年」で広がったESD実践者の提案をふまえ
関係省庁が民間団体との連携事業として開設した
官民協働のプラットフォーム



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

持続可能な地域づくりと人づくりを推進する
ESD活動支援センター

ESD活動支援センターのロゴマークでは、青色に「学び」、黄色に「活動」、森や自然を想起する緑色には「持続可能な社会」を象徴させました。この三色を配し、「人びとの学びと活動によって持続可能な社会を生み出し、育てる」というESDの考え方を表しました。また、E、S、Dの文字を使って卵から雛が生まれる様子を表現。青色と黄色を混ぜると緑色が生じるという「色の原理」も織り込んでいます。

交通アクセス



最寄駅

- 東京メトロ 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」
B2出口から徒歩約10分
 - JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線「渋谷駅」
東口(宮益坂口)から徒歩約12分
 - 都営バス(渋88系統)「青山学院前」停留所から徒歩約2分
- ※ 青山通りから国連大学とオーバルビルの間の道に入り、東京ウィメンズプラザの前のエスカレーターでB1Fまでお越しく下さい。

ESD活動支援センター

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5丁目53-67 コスモス青山B1F
TEL 03-6427-9112 FAX 03-6427-9113
E-mail contact@esdcenter.jp <http://esdcenter.jp>

ESD活動支援センターは、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)が公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)と共同で運営しています。



Education



Sustainable



Development

Education for Sustainable Development
持続可能な開発のための教育

切り絵・辻恵子



<http://esdcenter.jp>

ESD活動支援センターは

(全国センター)

地方センター及び地域ESD拠点と共に
ESD推進ネットワークを形成し
連携してESDを支援します。

4つの「はたらき」

1

情報の収集・発信

研修、教材、アワード、政策、助成金等の情報を、
ウェブサイト、SNS等で提供しています。
また、メールや電話等による相談にも応じます。

2

支援体制の整備

地方センターと連携し、地域の実践者のニーズに
沿った支援プログラムの検討を行います。
また、地域ESD拠点の形成・活動を支援します。

3

学びあいの促進

ネットワークを育み、
互いに学びあう場として
「全国フォーラム」を開催します。

4

人材の育成

実践者やコーディネーター、指導者の育成と、
活躍の場づくりに取り組みます。
また、ユースのキャパシティ・ビルディングを支援します。

3つの「つなぐ」

1

環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化などの
多様なテーマをつなぎます

2

ESDを推進する人・組織・プログラムなどを
地域をこえてつなぎます

3

国連機関や海外の先進地域の動きなど
国際的な情報をつなぎます

持続可能な社会を目指して



ESD推進ネットワークは

持続可能な社会の実現に向け、ESDに関わる
多様な主体が、地域における取り組みを核としつつ
様々なレベルで分野横断的に協働・連携して
ESDを推進することを目的としています。

ESDは全国で、世界で、取り組まれています

日本政府とNGOの共同提案から生まれた「国連ESDの
10年」(2005-2014)は世界中で展開され、日本国内
でも、政府・学校・高等教育機関・NGO/NPO・企業等様々
な主体がESDに取り組みました。

国連は2015年からのESD推進の枠組みとして「ESDに
関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」を
採択。日本政府も「我が国におけるESDに関するGAP実
施計画(ESD国内実施計画)」を策定し、ESDの一層の推
進に取り組んでいます。

2030年に向けた世界共通の目標である「持続可能な開
発目標(SDGs)」の達成のために必要な意識・行動の変革
をもたらすための学びとしても、ESDは大変重要です。

地方ESD活動支援センター(地方センター)

地方環境パートナーシップオフィス(EPO)を活用して
全国8ブロックに開設予定(2017年度)。
広域ネットワークのハブの役割を担い、全国センターと
ともにESD活動を支援します。